

# 高松教区 子ども&中高生の集い'09

4/25(土) - 26(日) 峰山公園(高松)、四国カトリック会館

## 神さまが呼んでるよ! - 召命 -

四国に縁のある講師の方々から召命の話を深めていただき、それをグループ毎に発表しました。その講師の方々や参加者の声を皆さんにお届けします。難しい漢字や表現もあるので、小さいお子さんにはこれと一緒に読んでくださり、対話の機会を持っていただければと思います。  
青少年委員会 プラザー八木信彦



### 講師の方々から

**ありがとう**  
コンパニアル聖フランシスコ修道会  
谷崎 新一郎 神父

久しぶりの高松にて貴重な体験をいただき、感謝でいっぱいです。司祭、修道者、信徒の方々はもちろん、同じ班のリーダーさんの河合香さん、河合恵さん、特にありがとうございます。信徒が少ない高松教区では、生活に信仰を支え合うことには難しさ、不安もあるでしょう。二日目のグループの貴重な分かち合いでは、多くの子どもが言いました。「友だちもいないし、習いごともあるし、ほんとうはあまり参加しなかった」。同時に「結果的にはとても良かった」と健気で前向きな言葉も。四国でしか生きられない信仰の深みもあります。関わりの中で育ちつつある召命が、イエス様と向かい合う中で深まり、豊かに実るよう遠くからお祈り致します。(愛媛県出身)

**神さまに信頼して**  
聖パウロ会 プラザー阿部真理

みんな、元気ですか?子どもたちの集いでみんなの輝く笑顔、今でも思い出します。今回の集いは、講師の一人としてお話したこともあり、みんなとたくさんかかわることができ、楽しいひとときでした。みんなの心の中に、「神さまの招きに応え、人々のために自分をささげる」、ということの素晴らしさに、少しでも芽生えたことと、確信しています。みんな、「自分は無理だなー、なれないよー」、と思わず、みんなが望みさえすれば神さまは足りないところはすべて助けてくださいます。小さい子どもたちは、「なりたい」という気持ちを持ち続けてください。そして、青年たちは勇気を持って飛び込んでください。神さまはあなたたちのすべてをご存知ですから。すべてを神さまに信頼して。

**寸劇:『おとうさんのジーンズ』**  
覚えていますか?  
聖母被昇天修道会 シスター深瀬聖子

集いに参加されたみなさん。お元気ですか?4月25日、今にも降り出しそうな気配で始まった集い。一緒に過ごしたなかに、たくさんのお会いがありました。これは私にとって大きな喜びでした。本当に感謝です。神さまの呼びかけは、とてもありふれた現実の生活の中にあります。小さなひとつ一つの事柄に応じていくという習慣を、学生時代の毎日に取り入れて生きてください。なぜ、何のために勉強するのか。今打ち込んでいる部活にはどんな目的があるのか・・・から始まって、神さまはユニークな私に、どう生きることを望んでいるのか。私の周りに起こる出来事にはどんなメッセージがあるのか・・・まで。

そこには、必ず、何らかの呼びかけがあるはず。呼びかけを知るためのヒントは、一日最低でも3分の静かな時間を持つことです。自分の部屋で静かに一日を振り返ってみることで。思わぬ所に、神さまの呼びかけ

があるからです。是非実行してみてください。またお会いできることを楽しみに・・・今日は晴れた日がいいなあ・・・お祈りのうちに。(香川県出身)

**結果よりもプロセス**  
聖ドミニコ宣教修道女会 シスター山内留美

久しぶりに四国に戻ってきて、初めてこの集いに参加させていただきました。「講師」とは名ばかりで、子どもたちと青年リーダーたちのパワーに引きずられっぱなしの2日間でした。最後のグループ発表の成果よりも、ゲームや作業を通してグループに結束感が生まれていくプロセスがとても面白かったです。教会共同体も結果を出すことより、こんな風にならざることも青年も大人も一緒に過ごすことが大切なのかな?と思いました。そんな雰囲気の中で召命が生まれたり、育ったりするのではないのでしょうか?来年もぜひ参加したい!そのためにはもう少し体力も備えておかなければならないかもしれません。(愛媛県出身)

**神の声**  
高松教区神学生 松田 栄作

たくさんの子供や中高生が参加して、この集いはとても賑やかで楽しいものでした。様々なバリエーションに富んだ発表や、谷崎神父様のオリジナル曲の披露などが印象に残っています。そんな中で、今回は召命について考えました。詩編 37:23 に「主は人の一歩一歩を定め、御旨にかなう道を備えてくださる。」とあります。では、その声はどのようにして聞くことができるのでしょうか。これから起こることを告知らせてくださる神は、私たち1人1人の人生にも語りかけてくださっています。様々なチャレンジの中から、自分だけに語りかける神のこぼりが聞こえてきます。その声は、優しく私を満たし、奮い立たせ、希望を抱かせるものです。聞こえたときは、勇気を出して踏み出しましょう。(徳島県出身)

**シスターになろう!**  
聖母の騎士修道女会 尾島 舞

集いの時にお話しさせていただいたことを少し分かち合いたいです。私がシスターになろうと決めたのは高三の時でした。それまで自分の楽しみだけを求めてヘアメイク関係の仕事に就こうと考えていたのが、ある本を読んだのがきっかけで180度変わってしまい、神様と人のために生きたいと思うようになりました。そして、私にできる神様への一番のプレゼントは聖母の取り次ぎによって自分を神様にお捧げすることだと知り、修道院に入るという道を選びました。

集いに参加して、いただいたお恵みの大きさと、これを自分だけで楽しむのではなく他の人

にも広がらなければ、という責任を感じました。私の会は「聖母を通してイエスへ」、マリア様とともに祈り、働く修道女会です。本当に素晴らしい生き方です。ともにこの道を歩んでみませんか。(元高松在住)

**神さまからのプレゼント**  
受洗者 石橋 章洋

私はこの集いに講師として参加しました。何か不安な気持ちを抱きながら参加しました。と言うのは自分の「召命」について前で語らなければいけなかったからです。あの時準備していた事以外に伝えなかったことがあるので少し書かせて貰います。

私が洗礼を授かるにあたって何か特別なこと(聖書に出て来るような自分の身に奇跡的なこと)が起こった訳ではありません。ただ青年活動や聖書の勉強を通して教会に通う中で神様、イエス様の存在を知り、そして信じられるようになりました。それは日々の日常生活の中で何気ない出来事が神様の働きだと感じるようになったからです。それから神様、イエス様の愛について深く学びそれに引かれていく自分に気付くことが出来たからです。それは(私はあなたといつも共に居るとか、君は愛されるために生まれた)など...

それから聖書にこんな言葉があります。「私を見たから信じたのか、見ないで信じる者は幸いである」この言葉も私の心を動かした一つだったと思います。このような気持ちになれる、もしくはさせてくれるこれらは全て神様からのプレゼントだと思い、信じています。これからも高松教区の一員として色々な働きをして行こうと思いますので皆さんよろしく。(高知県出身)

### 参加者の声

**『召命の勉強』 徳島教会 小6 生越美穂**

召命の勉強は神父様の話や、シスターの話が聞けました。小6でもよく意味がわからない言葉があったけれど、少しだったのでだいたいの話がわかった時に「すごいなあ不思議だなあ」と思いました。

二日目は、グループワークで、谷崎神父様が、作詞作曲した(ありがとう)という曲を皆で練習して発表しました。とても良い曲でした(ありがとう)

♪神様の愛に招かれて、皆で1出会った集いに、2ささげた祈りに、3遊んだ笑顔に、4わけあうやさしさ、

5幸せ祈って  
ありがとう ありがとう ありがとう ありがとう♪

谷崎神父様は、この曲を作るために、25



日の夜、御聖堂で一人練習をしていたらしいです。

**『召命について』 徳島教会 中1 生越真理**

今回のテーマ「召命」について班で話し合っ  
て寸劇をしました。その寸劇の意味は、神  
様に呼ばれたらすぐ返事をしよう。というこ  
とでした。私も神様に呼ばれたら、すぐ返事  
ができるようになりたいです。

今回、3年ぶりに高松の教会の友達に会っ  
て、みんなすごく大人になっていたのびっ  
くりしました。番町教会の神父様にも会え  
てすごくなつかしくて、うれしかったです。



**『歌』 徳島教会 中3 松尾菜々**

今回の子供の集いで一番心に残っているの  
は東京から来た神父様が作曲・作詞してく  
れた歌です。その神父様は東京から大阪ま  
で来る飛行機に乗ったときに作ってくれた  
曲です。短時間で作ったと思えないほどの  
すばらしい曲を私たちに歌ってくれました。  
曲は「ありがとう」です。「ありがとう」と  
いう言葉が何度もでてきて、子供でもすぐ  
に歌える簡単な曲だったけど、なんか心に  
しみてくる物があって、私は「これこそ神  
様の贈りもの」だと思いました。それを私  
たちのグループで歌いました。低い・高い  
のパートに分かれて歌いました。みんな初  
めて歌ったのに気持ち一つになったおかげ  
で一発でほぼ完璧にできてよかったです。

**徳島教会 高1 藤田エミ**

私は、一日目の夜から参加しました。夜は  
シスターの話や神父様の話を聞きました。  
話の内容は、シスターや神父になるまでの  
あらすじやエピソードなどでした。

私は或るシスターの「自分の声が大きすぎ  
て、神様の声が聞こえなかった。」という  
言葉が心に残りました。

私もそうかもしれないと思いました。だか  
ら、心を落ち着かせて、神様の声が聞こ  
えるといいな、と思いました。今回の子供  
の集いに参加できて、本当に良かったです。

**江ノ口教会 小3 島田祐祈(まさき)**

集いの間、しん父様やブラザーやシスター  
はいつも笑顔だから、いいなあと思った。  
いっしょにいて、楽しかった。

ぼくは、大工になりたいと思っているけど  
、しん父様やブラザーになるのもいいなあ  
と思った。ちょっとだけぼくにも、しん父  
様やブラザーになれるかもしれないと思  
った。

ぼくはこの作文を書くのは、いやだけど  
、すごくおもしろかったから来年も行きた  
いと思った。

**召命について 中島町教会 小6 安岡春菜**

私は、子ども&中高生のつどいに行って  
、召命について学びました。そして、講  
師の方の神父さんやシスター、神学生な  
ど

の話を聞きました。みんな、神さまから  
よばれてきた、ということが、分かりまし  
た。そして、話しは、子どもの時は、し  
ょう来は、別の方だと思うけど、システ  
ーや神父様になる決意をしてなったり、  
勉強したりしている、という話しでした。  
そして次の日、劇をしました。わたしたち  
の班は、神学校の一日の劇をしました、わ  
たしたちの知らないことがたくさんあり、  
日本人だけでなく外国の方もいるという  
ことが分かりました。そして勉強だけ  
ではなく、一応スポーツもやっているのも  
分かって、意外でした。勉強は、外国の  
言葉とかも習うことでした。そして、劇  
も成功し、召命のことも、よくわかりま  
した。



そして、話しは、子どもの時は、し  
ょう来は、別の方だと思うけど、システ  
ーや神父様になる決意をしてなったり、  
勉強したりしている、という話しでした。  
そして次の日、劇をしました。わたしたち  
の班は、神学校の一日の劇をしました、わ  
たしたちの知らないことがたくさんあり、  
日本人だけでなく外国の方もいるという  
ことが分かりました。そして勉強だけ  
ではなく、一応スポーツもやっているのも  
分かって、意外でした。勉強は、外国の  
言葉とかも習うことでした。そして、劇  
も成功し、召命のことも、よくわかりま  
した。

**江ノ口教会 中1 島田悠祈(ゆうき)**

私は集いに行く前、召命についてこう考  
えていました。召命は、子どもの時にある  
もので、神様が夢に出てきたり、見え  
ない人にかたをたたかれたりするものだ  
。でも集いに行って、いろいろな人の話  
を聞くうちに、召命は大人にもあるし、  
もっと身近にあるものなんだというこ  
とを知りました。

**中3 濱田飛鳥(あすか)**

私は、召命があっても身近なことすぎ  
て、召命だと気がつくことができるかな  
あ、と少し心配になりました。だから、い  
つ召命があ

ってもいいように心の準備をしておいた  
らいいのかなあと思いました。

**郡中教会 小4 梅木美映子**

私はグループの発表をする時キンチョウ  
しました。だって他の人たちに見られる  
からです。

私は3班で劇をしました。ほりよの1人  
がだっそうしたので、みせしめのため  
に10人がころされることになりました。  
その中の1人が「つまや、子どもがま  
っているから死にたくない。」と言いま  
した。するとコルベ神父様が身がわり  
になってくださいました。そして神父様  
はろうやに入れられ、ごはんも食べさせ  
てもらえないで何日もすごしました。そ  
して、とうとう注しやをうたれて死んで  
しまいました。

私だったら死にたくないです。神父様も  
本当は死にたくなかったんじゃないかな  
と思います。でも、神父様は他の人が悲  
しむのが、自分が死ぬよりいやだったの  
かもしれません。

これは、本当にあった話だと聞いて、  
私はビックリしました。ころし合うなん  
ていけないことだと思います。私はまた  
こんなことがあったらいやだなと思  
いました。

これは、本当にあった話だと聞いて、  
私はビックリしました。ころし合うなん  
ていけないことだと思います。私はまた  
こんなことがあったらいやだなと思  
いました。

松山教会では、参加した子供たちに以  
下の質問を渡し、書いてもらいました。

- 1. つどいは何回目ですか
- 2. 参加したいと思ったのはどうしてですか
- 3. 今年のテーマは「召命」でしたが、だれのお話が心に残りましたか
- 4. お話のどんなところが心に残りましたか
- 5. 日曜日にどんな発表しましたか
- 6. 発表で心に残ったことはどんなことですか
- 7. その他つどいから帰ってからもよいので、考えたことなどがあれば書いてください。

**小3 三宅 匠(たくみ)**

1. 一回目 2. 歌や祈りをしたか  
ったから 3. シスターのお話(祈り)  
4. シスターのいろんなお話が心に  
残っています。

**小4 田窪紗也香(さやか)**

1. 二回目 2. 楽しそうだから  
3. 土屋神父様 4. カレーの話  
5. 土屋神父様のカレーの劇 6.  
「カレーを食べませんか?」とさそわ  
れて最初にロザリオの祈りをしたのが  
おもしろかった

**小5 竹田真生(まお)**

1. 三回目 2. 前に行った徳島のつど  
いが楽しかったから行きたいと思  
った 3. 尾島舞さんの話 4. 教会  
に行きだした初めのころは神父様の  
ことがよくわからなくて、へんな人  
だと思っていたけど、そのうちに神  
父様はとってもいい人で信者さん  
たちを助けてくれるということがわ  
かってよかったですという話が心に  
残った。5. コルベ神父様の発表  
6. ぼくはコルベ神父様の子ども  
の役をして楽しかった。コルベ神  
父様はいつでも人のために働いて  
みんなのことを考えていたので、ぼ  
くは感動した。7. ぼくは侍者をする  
のが好きで祭だんのいすにすわっ  
ていたら心が少し落ち着くような  
気がする。

**小3 濱田聖香(きよか)**

1. 三回目 2. 楽しそうだから  
3. 土屋神父様 4. ロザリオのお話  
5. 土屋神父様が神父様になった時  
の劇 6. みんなでいっしょにでき  
たこと 7. ミサの最後に「この中  
で神父様やシスターになってもいい  
かな?」と思った人はいますか?と  
聞かれて手をあげました。家に帰  
ってから家族に言ったら「みんな  
でお祈りするよ」と言われてうれ  
しかったです。

**中3 濱田飛鳥(あすか)**

1. 六回目 2. 毎年参加して  
いて前回は楽しかった



から 3. シスター深瀬のジーンズのお話  
です 4. 神様から言われたことは言  
われた時にすぐに行くことが大切だ  
と実感できたことです 5. グループ  
で「お父さんのジーンズ」という劇  
をしました。私はナレーター 6. 劇の  
あとで「ナレーター上手だったよ」と  
ほめてもらえたこと。劇がみんなに  
うけていたことです! 見てくれた人  
たちの心に少しでも残ったらいいな  
と思いました 7. 神様の声に気づく  
のはとても簡単です。なぜなら迷  
った時、選択しなくてはいけない時  
には、自分にとって簡単にできない  
ことの方が、神様の声に近いと思  
うからです。でも実際にその選択  
を自分が迷わずできるかどうかは  
とても難しいことだなと思いました。

**番町教会 小6 佐川愛輝**

レクリエーションでは、風船ゲーム  
などをし、そして、夜には神父様  
や、シスターになるまでの話があ  
りました。

シスター達に聞くと、シスターや  
神父様になるにもやっぱり努力が  
大事だと言っていました。僕も神  
父様やシスターのように努力して  
がんばりたいです。

**三本松教会 中1 長町倫郎**

ぼくが着いた時は、雨が降って  
いてこれから大丈夫かなと思  
いました。そのうち雨が止んで、  
皆で集合して交流会をしました。  
今年もまた、たくさんの友達に  
出会えたり、もう一度会うこと  
ができてとてもうれしかったです。  
それから、皆で峰山を下りました。  
ちょっと疲れましたが桜町教会  
に帰って飲んだお茶がおいし  
かったです。夜には色々な神  
父様やシスターのお話が聞  
けました。一番心に残ったのは  
谷崎神父様の召しだしのお話  
でした。それが終わって夜はた  
くさんの友達がいたりしたので  
楽しくてドキドキして眠れませ  
んでした。朝食のいちごヨー  
グルトやお昼ごはんのカレー  
ライスはとても心をこめて作  
ってくださっていておいしく  
頂きました。ありがとうございます。  
昼からのグループ発表ではぼ  
くたちの班はパウロの回心の  
劇をしました。ぼくはパウロを演  
じました。感じたことは、初め  
はイエス様を迫害していたパ  
ウロになぜイエス様の声が聞  
こえたのかが不思議でした。で  
も、神父様のお話やシスター  
のお話を思い出すと、イエス  
様はパウロもまたお呼びにな  
ったのだと思いました。と  
ても勉強になりました。また、  
参加したいです。お世話にな  
った皆さんありがとうございました。

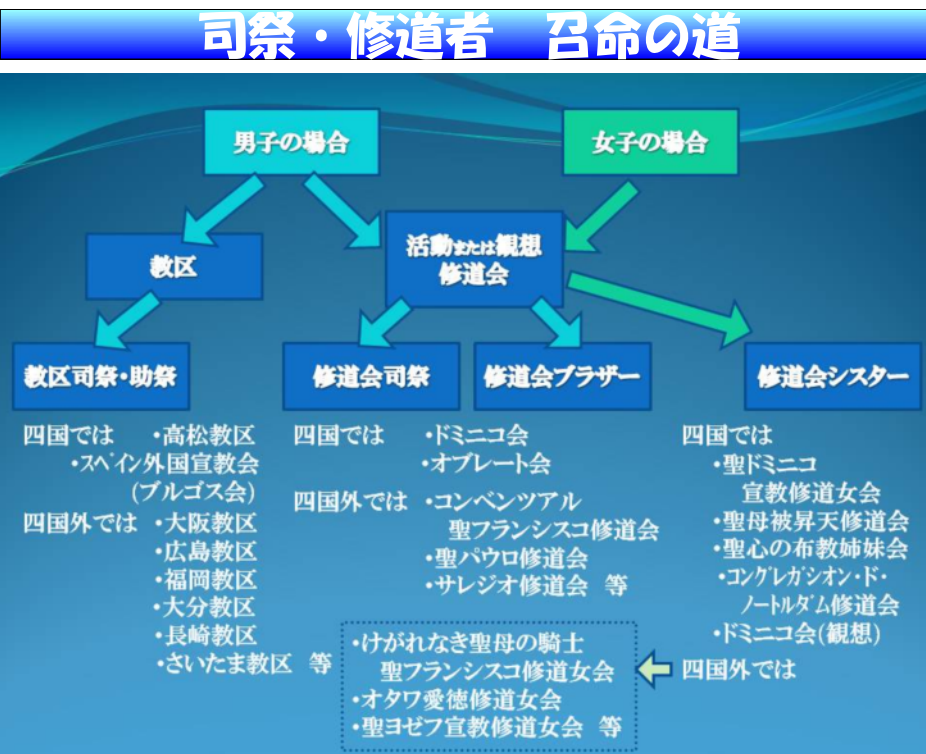
感じたことは、初めはイエス様  
を迫害していたパウロになぜ  
イエス様の声が聞こえたの  
かが不思議でした。でも、神  
父様のお話やシスターのお話  
を思い出すと、イエス様はパ  
ウロもまたお呼びになったの  
だと思いました。とても勉強  
になりました。また、参加し  
たいです。お世話になった皆  
さんありがとうございました。

**桜町教会 中2 谷本智枝美**

ある人のお話がとても印象に残  
りました。その人は自分のし  
たい仕事をしていました。そ  
して教会の仕事もするよう  
になったようです。私は絵を  
描くことが好きなので、将  
来は絵を描くお仕事をした  
いと思っています。でもそ  
のように、神様の事を中心  
にする生活に出来たらいい  
なと思いました。

ある人のお話がとても印象に残  
りました。その人は自分のし  
たい仕事をしていました。そ  
して教会の仕事もするよう  
になったようです。私は絵を  
描くことが好きなので、将  
来は絵を描くお仕事をした  
いと思っています。でもそ  
のように、神様の事を中心  
にする生活に出来たらいい  
なと思いました。

**司祭・修道者 召命の道**



教区...地域ごとにまとめた地区割りのグループ  
修道会...医療・福祉・教育・黙想指導等の会の精神をもとに集まったグループ  
司祭(神父)...ミサの司式を行ったり、告解を聴きます  
修道者(ブラザー・シスター)...自分の特性に応じてキリストを伝える活動のために捧げます(例;教師、看護師、カウンセラー等)  
※司祭は修道者の役割も行いますが、修道者は司祭の役割を行いません